

ひょうごの遺跡

平成10年5月25日発行
兵庫県教育委員会
埋蔵文化財調査事務所
神戸市兵庫区荒田町2-1-5
☎652 TEL 078-531-7011
-0032 FAX 078-531-7014

特集 平成9年度の発掘調査

県教育委員会では、平成9年度中に204件の発掘調査を行いました。このうち54件は震災復興事業に伴う発掘調査で、全国各地の自治体からの支援職員の協力を得ました。調査をおこなった遺跡は北は但馬から南は淡路まで全県下に及んでいます。本号ではこのうち主要な遺跡を紹介します。また、この3月まで復興に伴う発掘調査の支援に来ていただいた全国の職員の生の声もあわせて紹介します。

中世の信仰

やくしまえ
薬師前遺跡（朝来郡朝来町）

薬師前遺跡は、播但連絡道路建設にともなって発見された、平安時代から鎌倉時代にかけての遺跡です。

遺跡は、現在も信仰の対象になっている薬師堂を中心とした山裾の地区（A・B地区）と、その背後にある尾根上の地区（C地区）からなり、互いに密接な関わりをもっていることがわかりました。

下の写真は、C地区で確認された経塚の中心部分の様子です。山裾を流れる円山川から運び上げた河原石で造った区画の中心に須恵器の甕が残り、この甕の中からは、経典とともに納められていたであろう和鏡が出土しました。C地区では、このほかにも2基の経塚やお堂などが検出されました。



経塚調査状況

薬師前遺跡の山裾の地区（A・B地区）の調査

山裾のA・B地区では平安時代（9～11世紀頃）と中世前期（12世紀後半～13世紀前半頃）の集落跡と中世前期のお堂跡がみつかりました（写真上段）。

集落は調査区南側の平坦地に広がります。10～30㎡と小規模な建物で構成されています。

お堂は調査区北端の丘陵斜面に位置します。お堂を建てるにあたって背後の斜面を大きく削り、平坦面を造成しています。このような平坦面は隣接して2箇所に見つかりました。

お堂は礎石建物で、数回の建て替えが確認されています。そのうち最大の建物は1辺が5間（12.5m）もあり、礎石の直径は70cmもありました（写真下段）。

さらに調査の結果、お堂は最終廃絶時に焼失したことがわかりました。この焼失時の瓦礫の中から多くの土器片に混じって金箔片が多数出土しています（写真中段）。

このように薬師前遺跡では、集落背後の尾根上の地区と丘陵地区に多数の宗教施設が存在したことがあきらかになりました。しかし、山裾の集落が小規模すぎるため、これら施設の造営母体としては不適當でしょう。したがって、施設の造営母体となった有力者は遺跡外の地に住んでいたと思われます。



遺跡全景



金箔出土状況



お 堂 跡

神出窯跡群最古の須恵器

神出窯跡群では11世紀中頃から13世紀前半にかけて須恵器や瓦を生産しており、京の都や西日本各地にその製品を供給していました。

今回の調査では窯跡の本体は見つからなかったものの、窯から掻きだされた灰や炭の堆積した灰原が見つかり、輪高台の付いた碗・皿、把手の付いた壺や坏などの様々な種類の須恵器が出土しました。これらの須恵器は今まで神出窯跡群では知られていない古い様相を示すもので、神出窯跡群が11世紀前半以前から須恵器を生産していたことがわかりました。



出土した須恵器・軒瓦

神出窯跡群（神戸市西区）



流路内の須恵器

また、調査地内からは杭を打ち込んだ流路の跡が見つかっており、漆碗や中国製の青磁碗などとともに神出窯跡群で作られた大量の須恵器や瓦、土鍾などが出土しました。

これらの須恵器の皿や碗、鉢のなかには全く割れていないものや、重なって出土するものが多く、水運によって製品を出荷する際に舟から流路の中に落としてしまったものかも知れません。

飾られた太刀

塚ノ山1号墳は篠山町中心部の東、篠山川の北岸の丘陵上にあります。県道丹波篠山線の拡幅工事に先立って調査を行いました。

木の棺を直接墳丘に穴を掘って埋葬する木棺直葬墳です。墳丘は鎌倉時代に山城の一部として利用され、形が変わっていましたが、本来は直径14m程度の円墳であったと思われます。墳丘は現在も約1mの盛土が残っていました。一部が壊れているものの、木棺を納めた穴の大きさは2.8m×5mで、棺の大きさは0.7m×3.6mです。

副葬品は鉄刀2本、刀子4本、鉄鏃60本と武器類



鹿角装太刀（柄部分拡大）

塚ノ山1号墳（多紀郡篠山町）



全景

のみが納められていたことが特徴です。これらの武器類は棺の南側に沿って並べられていたようです。刀は切っ先が向き合うように置かれ、その間に鉄鏃がいくつかまとめて置かれていました。鉄鏃には布の痕跡が認められ、布に覆われて棺に納められていたようです。これらの鉄刀のうち1本は柄と刀身との間に鹿の角を使った飾りを付け、柄自体にも糸を巻いていました。このような飾りを持つ刀のことを鹿角装太刀と呼び、県下でも出土例の少ない貴重な資料です。

「郡」と書かれた土器

美乃利遺跡（加古川市）

美乃利遺跡は加古川平野の東部にあります。約2300年前（弥生時代前期）に流れていた加古川の一部がみつかりました。この川は、奈良時代には埋まりますが、埋まるまでに弥生時代・古墳時代・奈良時代の土器が捨てられていました。奈良時代の土器の中に、「郡」と墨で書かれた土器がみつかりました。



「郡」と書かれた土器

淡路初の旧石器

曾根遺跡（三原郡南淡町）

曾根遺跡は淡路島の最南端、南淡町に位置し、大日川が形成した扇状地に立地しています。

今回、淡路島で初めて発掘調査により旧石器が出土しました。遺物はサヌカイト製の国府型ナイフ形石器・翼状剥片・二次加工のある縦形剥片・チップなどが出土しました。

遺跡は今回の調査範囲より広がることが判明したため、今後の調査により淡路島での旧石器時代の遺跡の様相が明らかになるでしょう。



出土旧石器

木棺墓から出土した鏡

しゅうくはらでらした
宿原寺ノ下遺跡（三木市）

宿原寺ノ下遺跡は、志染川の南側の段丘の上にあります。調査では弥生時代後期～近世にかけての遺構が見つかりました。なかでも平安時代後期の木棺墓からは、和鏡が1面、鉄製毛抜きが1点、須恵器椀が1点、須恵器皿が2点、刀子が1点見つかりました。和鏡の表面は錆がひどく、模様はよくわかりませんが、数羽の水鳥が描かれているようです。



出土した副葬品

丘陵斜面の弥生のムラ

おぎわら遺跡（津名郡北淡町）

瀬戸内海を一望できる標高260m前後の丘陵南向斜面に立地する弥生時代後期の遺跡を調査しました。竪穴住居跡を6棟と土坑などを調査しました。竪穴住居は斜面のため山側の一部を確認したのみです。

竪穴住居の平面形は方形で、一辺3～8mの規模があります。中から弥生土器の壺・甕・鉢・高坏・器台などが出土しました。

この調査により、谷を挟んだ南側の久野々遺跡とおぎわら遺跡は標高260m～280mにかけての一連の高地性集落であることがわかりました。



斜面に造られた住居

埴輪の棺

舞子浜遺跡（神戸市垂水区）

舞子浜遺跡は明石海峡大橋の神戸側のたもと、松林が広がる舞子公園の中にあります。砂浜の中から五色塚古墳と同じ時期の朝顔形埴輪と鱈付朝顔形埴輪を組み合わせた埴輪棺が出土しました。棺の両端と透し穴は朝顔形埴輪の口縁を打ち欠き塞いでいましたが、棺内には砂が充満し、人骨は残っておらず、副葬品もありませんでした。

舞子浜遺跡は神戸市教育委員会などの調査と合わせて、15基以上の埴輪棺で構成されている砂浜に立地する古墳時代の墓地であることがわかりました。



埴輪棺

古墳時代の木製品・石製品

五反田遺跡（豊岡市）

五反田遺跡は円山川の支流である鎌谷川により形成された沖積地に立地しており、地表下約2.5mの標高2m前後を中心に古墳時代の遺構を検出しました。旧河道や水路からは木製の建築部材や田下駄・大足・横樋などの製品や未製品が多量に出土しました。このことから調査した場所は木製品製作の集落の一部であると考えられます。

また、洪水砂の層からは古墳時代の滑石製の琴柱形石製品と有孔円板が出土しています。



木製品出土状況

明智光秀の陣城か？

火山城跡（氷上郡春日町）

丹波の名城「黒井城」の南方約2kmのところに、明智光秀の丹波攻めに伴う陣城がみつかりました。この城では、階段状になった曲輪や帯曲輪、そして簡易な掘立小屋と考えられる「小屋掛け」という小さな平坦地などを検出しました。

天下布武を目指す織田信長は、天正3（1575）年に明智光秀を大将として丹波へ派遣します。光秀は、黒井城を包囲するため12～13ヶ所の陣を構えたといわれています。火山城跡もこうした陣の1つで、他の城との中継地点だったのではないのでしょうか。



全 景

古墳時代の大集落

加都遺跡（朝来郡和田山町）

新水北・宮ヶ田・山内北地区で古墳時代中頃の竪穴住居跡33棟と倉庫と思われる建物跡が見つかりました。住居跡は重なり合っており、何度か建て替えが行われたようです。全ての住居跡は方形で、中央に炉跡が設けられていました。また、6棟の住居跡には竈が備え付けられていました。

特徴的な出土遺物として、初期須恵器、滑石製模造品、埴輪などがみつかりました。

但馬地方で竪穴住居跡がこれほどまとまって見つかったのは初めてのことです。



竪穴住居跡群

復興調査のこの一年

阪神・淡路大震災の復旧・復興事業に伴う遺跡の発掘調査が始まって、この6月で三年が過ぎようとしています。震災の直後には本当に発掘調査ができるのかと心配していましたが、無事に震災復興の調査を行うことができました。これも被災地の住民のみなさまをはじめとして、多くの方々の遺跡あるいは発掘調査に対するご協力とご理解の賜物と思い、感謝しています。

3年間の調査の内容を振り返ると、平成7・8年度は被災者の方々を受け入れるための公的な復興住宅・共同住宅（マンション）あるいは個人住宅などの住宅建設を中心として、ライフラインの復旧・整備等に関連する事業に伴う発掘調査が中心となっていました。9年度はその件数も極端に少なくなってきました。このことは、当面の急がれる復興事業が着々と進んでいることを裏付けています。平成10年度以降は、継続される個人住宅の建設とともに創造的な復興事業、より広範囲な市街地整備事業等に伴う発掘調査へと移っていくものと思われます。

さて、3年目となった9年度の調査でも、多くの注目すべき成果がありました。例えば、平清盛の整備した「大輪田の泊」の旧地とされる兵庫津遺跡（神戸市兵庫区）、白鳳時代の寺院跡あるいは官衙遺跡といわれていた室内遺跡（神戸市長田区）、奈良時代の東大寺領の荘園の推定地と考えられる猪名庄遺跡（尼崎市）、白鳳時代の猪名寺を創建した猪名氏に関連すると考えられる南本町遺跡（伊丹市）などの調査があります。この他に、神戸市をはじめ市町への人的な支援調査でも、新方遺跡（神戸市西区）のように考古学の歴史に残るような貴重な成果をあ

げた調査も多くみられました。詳しいことについては、『ひょうごの遺跡』第27号・第28号の紙面上ですでに紹介しているとおりです。

次に、第28号以降の最新の発掘調査のなかから、当事務所が中心となって行った調査の成果を2箇所紹介しましょう。神戸市長田区の公団住宅の建設に伴う御船遺跡の調査では、13世紀前半頃の屋敷地の一部を確認しました。周辺でのこれまでの調査結果と考え合わせると、鎌倉時代、この付近一帯に水田が営まれ、そのなかに大小の屋敷地が散在していた様子が想定されるようになってきました。中世初期の典型的な散村風景が広がっていたようです。

また、平成10年度以降の震災復興調査の姿を示唆するような遺跡を西宮市内で発見・調査しました。その遺跡は、阪急西宮北口駅の北東地区の再開発事業に伴う調査によって、新たにその存在が知られた北口町遺跡です。この遺跡は3世紀と13世紀を中心とする典型的な集落遺跡ですが、その発掘調査は再開発工事の合間を縫っての実施となりました。まさに、震災復興に伴う調査の典型といえることができます。来年度以降、こうした状況での調査が増えてくるのではないかと思います。

今回の震災復興事業に伴う発掘調査に関連しては、この3年間に全国の都府県・政令指定都市より、延べ120名もの人的支援をいただき、迅速な発掘調査の実施に対応することができました。次ページにご紹介する25名の方々を最後として、人的支援も9年度で終了することとなりました。しかし、震災復興事業はこれからも続きます。引き続き埋蔵文化財調査へのご理解とご協力をお願いいたします。



御船遺跡（神戸市長田区）



北口町遺跡（西宮市）

震災支援調査を終えて —— 支援職員からの一口コメント ——

支援調査の最終年度を終えるにあたり、支援職員の方々からのメッセージをいただきました。

深谷 憲二さん 【茨城県】

被災者の苦慮を思いながらも、兵庫県の様々な御配慮とお導きを頂いたことに深く感謝致します。

中山 浩彦さん 【埼玉県】

長いようで短かった2年間。辛い事・楽しい事がありました。これからの人生の糧としたい。

半澤 幹雄さん 【千葉県】

復興のお役に立てたかどうか心配です。まだ、復興は続くようですが、遠くで応援しております。

河野 喜映さん 【神奈川県】

良きにつけ悪きにつけ西と東の違いが分かりました。全ての被災者の生活再建を期待しています。

三輪 晃三さん 【岐阜県】

お世話になりました。被災された方々の住宅が1日も早く確保され、復興が進むよう祈念します。

丸杉 俊一郎さん 【静岡県】

1年間お世話になりました。震災からの1日も早い復興と皆様方のご活躍をお祈りいたします。

佐藤 公保さん 【愛知県】

支援に来て2年半。数々の現場・整理に関わりましたが、色々な意味でよい体験をしたと思います。

船越 重伸さん 【三重県】

もう1年たったんですね。いろんなことがありましたが、良い経験になりました。

岡本 敏行さん 【大阪府】

当初からの派遣で町が次第に復興していく姿に希望を感じました。これからです。頑張ってください。

瀬戸田 佳男さん 【大阪府】

被災者です。復興調査に関わって幸せでした。でも、変わりゆく街並みに気持ちは複雑です。

横田 明さん 【大阪府】

3年間大変お世話になりました。今後の県職の皆様方の御健闘を心よりお祈り申し上げます。

石崎 善久さん 【京都府】

長いようで短い3年間でしたが色々勉強になりました。京都に帰ってもよろしくお付き合い下さい。

藤井 整さん 【京都府】

困難な状況下で歴史を棄てようとしなかった全ての方々に敬意を表します。これからも頑張ってください。

福島 孝行さん 【京都府】

復興班で学んだことを忘れずにこれからも頑張ります。皆さんも頑張ってください。

奈良 康正さん 【京都府】

最後の一年でしたが、様々な現場で個性豊かな人々との有意義な出会いがあり、良い経験でした。

木戸 雅寿さん 【滋賀県】

愛するKOBЕの復興に向け少しでも力になればと。危機にあっても先祖の足跡を護る心に感謝。

小栗 明彦さん 【奈良県】

震災等を契機に表面化する人間社会の軋轢を如何に潤滑に解消するのか、私と考古学の遍路道険し。

永光 寛さん 【和歌山県】

半年間という短い期間でしたが、大変お世話になりました。被災地の更なる復興をお祈りします。

家塚 英詞さん 【鳥取県】

天候不順な冬季の但馬の調査には頭が下がる思いの隣県人として一言、整理期間になりませんか？

氏平 昭則さん 【岡山県】

兵庫県の方々には仕事につき遊びにつきお世話になりました。これからもよろしくお願いします。

鈴木 卓さん 【山口県】

この1年間痛風の症状がなかった。単身赴任は痛風に効くのかな（全然効かない人もいたらしい）。

岡山 真知子さん 【徳島県】

新しい出会いの中で新しい友を得、新しい発見があり、新しい出発を迎えます。今後ともよろしく。

重藤 輝行さん 【福岡県】

復興調査での貴重な経験を活かすように、今後の仕事に取り組みたいと思います。

渋谷 格さん 【佐賀県】

1年間大変お世話になりました。ありがとうございます。少しは復興のためになったのでしょうか。

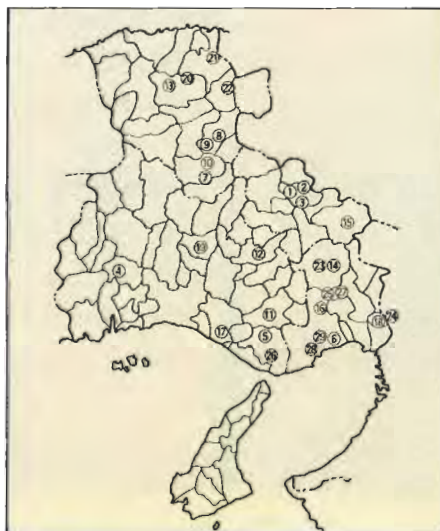
大久保 浩二さん 【鹿児島県】

復興の進む被災地に立ち、人間の力強さを実感しました。なにかもよい体験でした。ありがとう。

以上25名の方々

平成9年度の主な発掘調査 (23～29は震災復興関連の調査)

No.	遺 跡 名	所 在 地	事 業 名	遺 跡 の 概 要
1	七日市遺跡	氷上郡春日町野村	北近畿豊岡自動車道建設事業	旧石器・弥生時代の集落跡
2	火山古墳群・火山遺跡	氷上郡春日町平松		古墳・中世の集落など
3	火山城跡	氷上郡春日町平松		中世の山城跡
4	小犬丸遺跡他	龍野市揖西町	山陽自動車道新宮インターチェンジ建設	奈良時代の寺院跡など
5	神出遺跡	神戸市西区神出町	国道175号（神出バイパス）建設	中世の集落跡・生産遺跡
6	楠・荒田町遺跡	神戸市中央区楠町	神戸大学医学部大学院演習施設	中世・近世の集落跡
7	薬師前遺跡	朝来郡朝来町元津	播但連絡道路（5期）事業	中世の集落跡・経塚
8	加都遺跡	朝来郡和田山町加都		奈良～平安時代の道路遺構など
9	梅田古墳群	朝来郡和田山町久留引		古墳時代の古墳
10	木之内遺跡	朝来郡朝来町物部		中世の山城跡
11	宿原・寺ノ下遺跡	三木市宿原	三木環状線緊急道路整備事業	中世の集落跡
12	板波町遺跡	西脇市板波町	加古川水系加古川中小河川改修	古代～中世の集落跡
13	山宮遺跡	城崎郡日高町山宮	農林漁業用揮発油財源身替農道	古墳時代の集落跡
14	福島古墳群	三田市福島	都市公園整備事業	古墳後期の古墳
15	塚ノ山1号墳	多紀郡篠山町野間	丹波篠山線緊急地方整備事業	古墳後期の古墳
16	二郎宮ノ前遺跡	神戸市北区有野町二郎	道場南口車両留置施設建設工事	古代～中世の集落跡
17	美乃利遺跡	加古川市加古川町	一級河川別府川河川改修工事	弥生時代の集落跡
18	伊丹郷町・有岡城跡	伊丹市伊丹	伊丹停車場線 県単独舗装修繕	中世・近世の集落跡
19	沢 構	神崎郡市川町沢	長谷市川線道路改良事業	弥生時代の生産遺跡
20	上石遺跡	城崎郡日高町上石	県営住宅整備	中世の水田遺構
21	五反田遺跡	豊岡市祥雲寺	コウノトリの郷公園（仮称）整備事業	古墳時代の集落跡・流路
22	宮内遺跡	出石郡出石町宮内	町分久美浜線道路改良事業	古墳～近世の集落跡
23	有鼻遺跡	三田市けやき台	北摂地区新住宅市街地再開発	弥生時代の集落跡・中世の山城
24	南本町遺跡	伊丹市南町	都市計画街路事業	奈良時代の官衙跡
25	日下部遺跡	神戸市北区道場町	土地区画整理事業	中世の集落跡
26	丸塚遺跡	神戸市西区玉津町	土地区画整理事業	弥生～古墳時代・中世の集落跡
27	八多中遺跡	神戸市北区道場町	土地区画整理事業	古墳時代の集落跡
28	御船遺跡	神戸市長田区大道通	団地建設事業	中世の集落跡
29	兵庫津遺跡	神戸市兵庫区	神戸共同溝事業	中世～近世の集落跡



編集後記

寒くてつらい冬の調査を終え、今まさに春です。桜は散りましたが、生命力あふれる木々の緑が明日への元気を与えてくれます。支援職員が派遣元へ帰られた今、我々兵庫県職員も正念場です。みなさまの温かいご理解とご協力をお願いします。